

ふくやま未来づくりビジョン 2018

～5つの挑戦の加速～

【実績まとめ】

5つの挑戦 決算額 約93億円（再掲分を除く事業費）

挑戦 1

中心市街地の活性化と
都市の魅力向上

決算額
209,072千円

【中心市街地の活性化】

- ・（仮称）デザイン計画の検討
- ・リノベーションまちづくりの推進
- ・道路や公園などの活用の検討

【都市の魅力向上と発信】

- ・世界バラ会議福山大会の開催決定
- ・広島東洋カープとコラボレーションした
地方版図柄入りナンバープレートの交付開始
- ・広報ふくやまのリニューアル

【戦略的な観光振興】

- ・F1層向け観光PR動画「#福山とまる女子旅」の制作、配信



挑戦 2

希望の子育て、
安心の医療・福祉と
まちの活力の創出

決算額
1,127,583千円

【福山ネウボラが支える希望の子育て】

- ・あのねBoxのプレゼント
- ・アプリ「あのね育ナビ」による子育て情報の発信
- ・不育症治療費、新生児聴覚検査費の助成開始

【若者や女性の活躍推進】

- ・首都圏の大学生と備後圏域企業の交流会の開催
- ・市外大学への通学費支援制度の創設
- ・女性の市内企業への就職応援事業の強化
- ・女性の働く環境改善に向けた補助制度の創設



挑戦3

まちの成長をけん引する産業づくり・防災

決算額

2,529,449千円

【地域経済の活性化】

- ・デニムプロジェクトによる世界最高峰の素材展示会へ出展，首都圏での製品発表
- ・再生可能エネルギーの地産地消に向けた地域新電力会社「福山未来エナジー株式会社」の設立



【防災対策の推進】

- ・初の豪雨を想定した総合防災訓練の実施
- ・国や県などと連携して実施する抜本的な浸水対策の取りまとめ

挑戦4

夢・希望あふれる未来を創る人財の育成

決算額

2,018,180千円

【未来を創造する教育】

- ・10歳の君へ よこそ美術館プロジェクトの実施
- ・官民協働の福山版“海外留学制度”による初の海外派遣



【未来づくりへのチャレンジ】

- ・福山の未来図の実現に向けたプロジェクトの創出
- ・持続可能な地域コミュニティの再構築に向けた議論



挑戦5

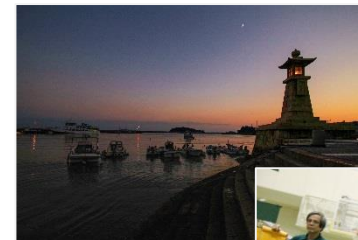
文化・スポーツの振興

決算額

3,371,226千円

【歴史・文化・芸術の薫る都市づくり】

- ・福山城の保存，整備の推進（公園整備，施設国宝化に向けた調査など）
- ・福山駅北口広場整備基本方針の策定
- ・ばらのまち福山国際音楽祭2018の開催



【鞆のまちづくり】

- ・日本遺産の認定
- ・グリーンスローモビリティ実証調査の実施

【スポーツの振興】

- ・パラグアイオリンピックチーム事前合宿受入れの決定
- ・総合体育館と公園，（仮称）かわまち広場の一体的な整備



市政運営の基本

スピード感・情報発信・連携

- ・先端技術を活用したまちづくりに係る連携協定の締結（シャープ(株)，ソフトバンク(株)，MONET Technologies(株)）
- ・「新たな人口減少対策～強化策～」の取りまとめ

中心市街地の活性化（決算額：64,153千円）

福山駅周辺のエリア価値を高め、良質な民間投資を呼び込む（仮称）デザイン計画の検討やリノベーションまちづくり推進、公共空間活用の実証実験など、福山駅前再生ビジョンの具現化に向けた変化が始まっています。

【2018年度の主な取組と成果】

1 デザイン計画の検討

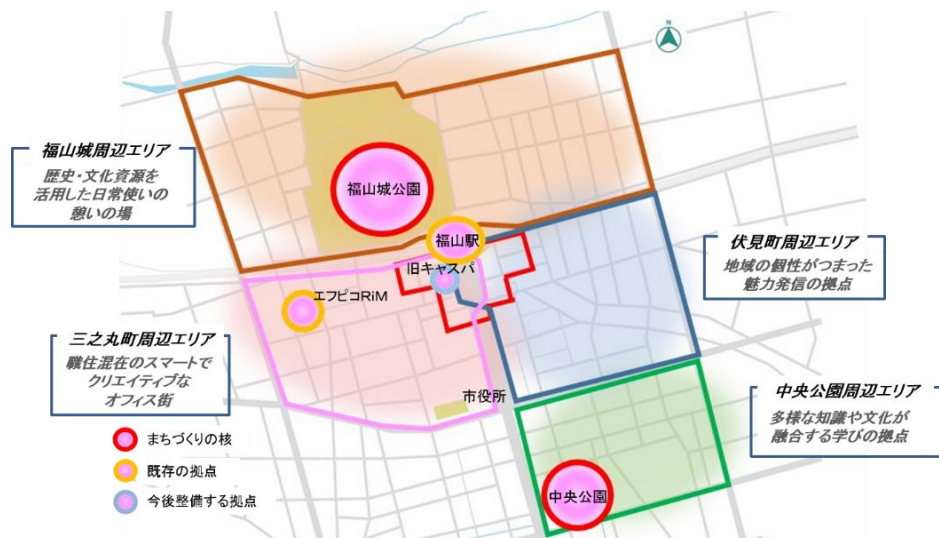
- ・福山駅前デザイン会議の開催
（仮称）デザイン計画の中間取りまとめ
- ・福山東警察署と福山駅前のまちづくりに関する協定の締結
- ・まちのトレジャーハンティング@福山の開催
参加者 33人
参加者の提案から4つのエリアビジョン案を作成

2 リノベーションまちづくりの推進

- ・リノベーションスクールの開催 2回
スクール受講生 42人、事業提案 6件

3 道路や公園などの活用の検討

- ・駅前道路の歩行者空間化に関する実証実験
- ・中央公園Park-PFI導入検討



【4つのエリアビジョン】※（仮称）デザイン計画（中間取りまとめ）



【リノベーションスクール@福山】



【公共空間活用実証実験 左：福山城南側、右：伏見町地区】

担当課：市長公室情報発信課
企画財政局企画政策部企画政策課
市民局まちづくり推進部協働のまちづくり課（ほか）

都市の魅力向上と発信（決算額：107,855千円）

地域資源の磨き上げや戦略的な情報発信によって福山の魅力が広がっています。

【2018年度の主な取組と成果】

1 福山の魅力向上

ブランド

- ・福山ブランドの認定・登録 申請54件
商品・素材などの認定 5件 活動の登録 2件
- ・福山ブランド認定品のPR
「OZの女子旅EXPO2018」（東京）への出展

ばらのまち

- ・世界バラ会議福山大会（2024年5月）開催決定
- ・ばらのまち福山PR大使 ニコライ・バーグマンさんによる駅前アートプロジェクト

暮らし

- ・「びんご移住体験ツアー」の実施 参加者 6組11人
- ・移住ファミリー向けの住宅改修費補助 1件

2 情報発信力・拡散力の強化

- ・地方版図柄入りナンバープレートの交付 申込8,192件
- ・福山アンバサダーによる魅力発信
登録数 404人（総フォロワー数144万人）
「#福山アンバサダー」投稿件数 10,453件
- ・福山ふるさと大使（小林克也さん）による魅力発信
あしだ川花火大会のナレーション
- ・広報ふくやまのリニューアル
電子版広報の制作，全ページカラー化
- ・アクセス解析を基にしたホームページの改善
関連ページへの誘導機能追加



【OZの女子旅EXPO2018へ福山ブランド認定品の出展】



【駅前アートプロジェクト】 【びんご移住体験ツアー】

ネウボラ相談窓口
「あのね」（市内）

20.6%

31.9%

鞆の浦があるまち（首都圏）

11.9%

15.2%

日本屈指の
デニム産地（首都圏）

9.1%

15.0%

【重点広報テーマの認知度 2017年度→2018年度】

戦略的な観光振興（決算額：37,064千円）

インバウンド対応を含めた観光客の受入環境を更に充実するとともに、国内外のターゲットへの動画配信やSNSを活用した情報発信の強化によって、観光地としての認知度が向上しています。

【2018年度の主な取組と成果】

1 インバウンド観光の推進

- ・インバウンド観光に関する動向調査・分析
ターゲットの選定 米, 仏, 豪, 中, 台 (5カ国)
- ・多言語パンフレットの追加作成 (韓国語)
- ・和文化体験の提供
福寿会館での琴体験など 体験人数 60人

2 観光プロモーションの強化

- ・宿泊予約サイトへのクーポン付き特設ページの構築など
宿泊クーポン利用者 350人
- ・F1層をターゲットとした観光PR動画「#福山とまる女子旅」の制作・配信
動画再生 116,915PV
Instagram 89,110いいね
- ・ドローン, 4Kを活用した観光PR動画の制作・配信
日本国際観光映像祭でベストフィルムとグッドフィルムの2つを受賞

3 広域観光の推進

- ・備後圏域におけるタクシーを活用した旅行商品の造成
31コース造成



【福寿会館の琴体験】

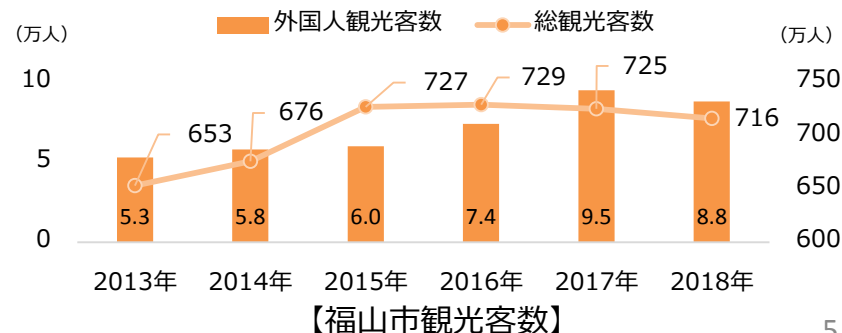


福山とまる女子旅

- 瀬の浦エリア編 -



【#福山とまる女子旅】の制作・配信



福山ネウボラが支える希望の子育て（決算額：992,034千円）

担当課：保健福祉局児童部
 ネウボラ推進課 保育課
 保健部健康推進課 ほか

妊娠、出産、子育てに関する切れ目のない支援の充実や相談のきっかけづくり、情報発信力の強化を進めることで、安心して子どもを産んで育てられる環境の構築につながっています。

【2018年度の主な取組と成果】

1 子育て支援の充実と少子化対策

- 福山ネウボラを中心とした子育て支援
 - ・あのね（市内12か所）での相談支援 21,024件
 - ・福山市立大学と連携したネウボラ相談員のスキルアップ
 - ・産前産後のサポートを実施 622件
 - ・妊娠32週以降の妊婦への来所プレゼント（あのねBoxなど）
 - ・アプリ、HPによる子育て・イベント情報の発信
 - アプリ「あのね育ナビ」登録者数 2,442人
 - HP「福山市子育て支援サイト」アクセス数 3,818件

○妊娠・出産への支援

- ・医療費の助成
 - 一般不妊治療費の助成 171件
 - 不育症治療費の助成 28件
 - 新生児聴覚検査費の助成 1,705件（2018年10月開始）

2 子育てに係る医療支援

- ・こども発達支援センターの運営 利用者数 延べ 3,336人
- ・病児・病後児保育の実施（4施設） 利用者数 延べ 1,667人

3 貧困の連鎖の防止

- ・子どもの居場所を兼ねた学習支援 利用者数 延べ 12,696人
- ・ひとり親家庭の自立支援（給付金） 62件



【相談窓口「あのね」】



【あのね育ナビ】



【あのねBox】

「健康長寿社会 福山」の実現（決算額：70,813千円）

担当課：保健福祉局保健部健康推進課
長寿社会応援部高齢者支援課 ほか

地域・行政・関係機関が連携することで、心と体の健康づくりを身近に相談できる環境や、認知症の方とその家族を地域で支える体制の充実につながっています。

【2018年度の主な取組と成果】

1 生活習慣の改善（未病対策）

- ・食と運動の健康づくりボランティアの養成
研修会参加者数 5,611人
- ・料理教室や運動教室などの地域活動の実施
延べ参加者数 53,738人

2 生活習慣病の予防と重症化予防

- ・糖尿病性腎症重症化予防保健指導プログラムの実施
終了者数 20人

3 心の健康づくり・自殺の予防

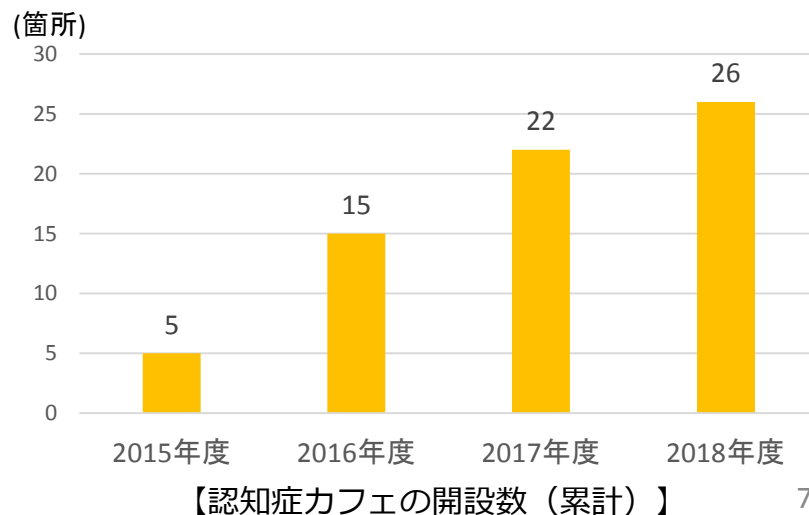
- ・身近な支援者となるゲートキーパーの養成
養成者数 1,091人

4 在宅支援を中心とした認知症施策の充実

- ・認知症地域支援推進員の増員
増員数 2人（計7人）
- ・認知症予防教室の開催
- ・認知症サポーター養成講座の実施
受講者数 2,597人
- ・認知症カフェの開設
開設数 4か所（計26か所）
利用者数 延べ5,473人
- ・高齢者徘徊SOSネットワーク
備後圏域6市2町への拡大



【運動普及推進員による運動教室】



若者や女性が輝く都市づくり（決算額：53,614千円）

働き方改革の推進や女性が活躍できる就労環境の整備などによって、若者や女性が活躍できる場が増えています。また、若者と地元企業との交流促進や市外大学への通学支援により、若者の地元定着につながっています。

【2018年度の主な取組と成果】

1 若者の活躍支援

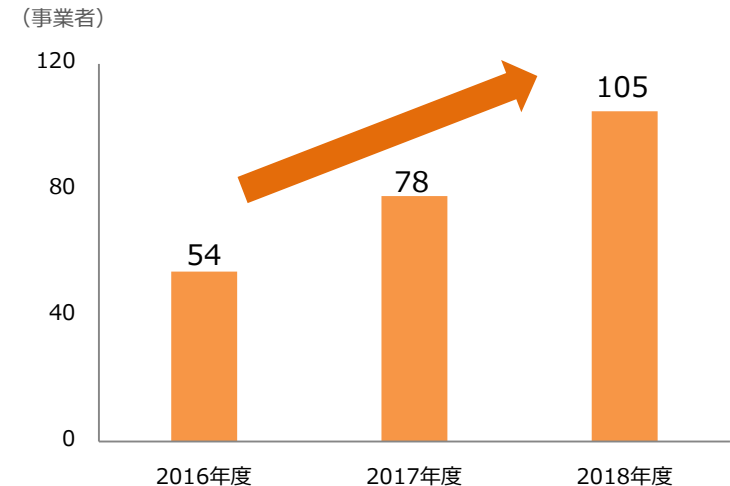
- ・ 県外に在学中の大学生と備後圏域企業の交流会（企業研究会）の開催
参加企業 57社, 参加者 76人（大阪）
24社, 参加者 30人（東京）
- ・ 市外大学への通学費支援 支援件数 32件
- ・ 看護学生向け市内就職セミナーの開催 参加者数 76人
- ・ 看護職員再就職支援セミナーの開催 参加者数 6人

2 女性の活躍推進

- ・ ふくやまワーク・ライフ・バランス認定、男女共同参画推進事業者表彰
認定企業数 105事業者
表彰 2事業者
- ・ 市内企業への就職応援事業 利用件数 22件
- ・ 女性の働く環境改善補助 利用件数 7件
- ・ LADY WORK CAFEの運営 登録者数 552人
- ・ Web系在宅ワーク支援事業の実施
Web系在宅ワーカー育成数 41人
Web系在宅ワークにより実収入を得た受講生割合 56.1%



【県外大学生と備後圏域企業の交流会（企業研究会）】



【ワーク・ライフ・バランス認定事業者の推移（累計）】8

障がい者の社会参加支援（決算額：11,122千円）

担当課：保健福祉局福祉部障がい福祉課
経済環境局経済部産業振興課

一般就労への移行促進や就労後も安心して働き続けられる環境の整備などの経済的自立に向けた支援を行うとともに、手話の普及啓発を通じて障がいへの理解を促すことで、障がいのある人の社会参加につながっています。

【2018年度の主な取組と成果】

1 障がい者の経済的自立に向けた支援

- ・障がい者雇用セミナーの開催
参加数 67事業所
- ・事業所に対する巡回指導・相談
実施数 98事業所
- ・障がい者雇用奨励金の交付
交付件数 33件

2 手話の普及啓発などを通じた障がいへの理解促進

- ・手話出前講座の開催
実施回数 25回
参加者数 1,569人
- ・日常生活用具購入費の助成
人工内耳体外部装置（補聴器）を対象品目に追加



【障がい者雇用促進セミナー】

福山市こころをつなぐ手話言語条例 2017年12月20日施行

手話が言語であるとの認識に基づき、手話への理解と普及に関して基本理念を定め、市の責務、市民と事業者の役割を明らかにし、すべての市民が共生する地域社会の実現をめざすもの。



【手話出前講座】

地域経済の活性化（決算額：185,355千円）

中小企業などへの様々な支援によって、ものづくり技術の継承や売上向上、新事業の創出などにつながっています。また、産業団地の造成事業の推進など、経済活動の活性化に向けた産業基盤の整備を進めています。

【2018年度の主な取組と成果】

1 地域を支える産業の活力創造

- ・ものづくり大学による人材育成（技術の学びなおしなど）
受講者数 944人
- ・福山ビジネスサポートセンターFuku-Bizによる個別相談支援
相談件数 2,800件 売上向上率 62.0% 創業件数 6件
- ・デニムプロジェクト
地場企業とデザイナーのマッチングによる商品開発
世界最高峰の素材展示会（ミラノウニカ）への出展
参加企業数 3社 商談件数 186件
- ・再生可能エネルギーの地産地消
地域新電力会社「福山未来エナジー株式会社」の設立

2 高度人材の育成

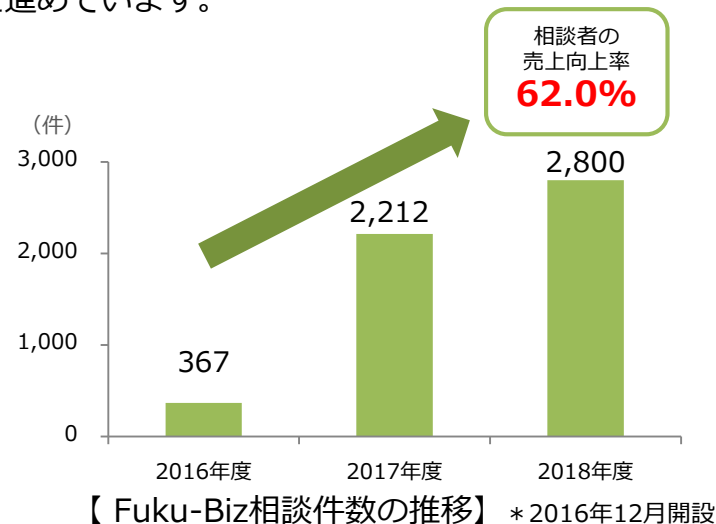
- ・グローバル人材育成事業の実施（圏域内4大学）
参加者数（大学生，社会人） 講義 55人 海外研修 20人
- ・プロフェッショナル人材の活用
高度専門人材（兼業・副業）の活用による事業構築 13事業

3 企業誘致の促進

- ・産業団地の造成に向けた用地取得，実施設計

4 まるごと実験都市ふくやまの推進

- ・先端技術を活用したまちづくりに係る連携協定の締結 3社
- ・市内における各種実証実験の実施 10件（うち新規6件）



【先端技術によるまちづくり官民協議会の設立】
(ソフトバンク(株), シャープ(株), 市内企業, 大学との連携)

農林水産業の活性化（決算額：15,213千円）

担当課：経済環境局経済部農林水産課
地産地消推進課

民間事業者などと連携した取組によって、農林水産物の魅力向上につながっています。

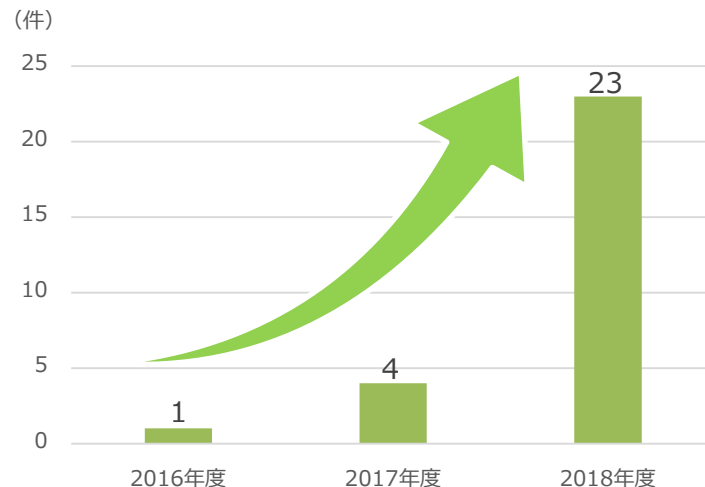
【2018年度の主な取組と成果】

1 6次産業化の推進

- ・首都圏への販路開拓支援（びんごフェアの開催など）
マッチング件数 23件
- ・新商品開発支援（びんご6次産業化アドバイザー派遣など）
新商品開発数 1件
- ・備後圏域ワインプロジェクト
備後ワインクラブ 参加者数 20人
備後ワインフェス 来場者数 約5,000人
（備後フィッシュフェスと共催）
備後ワイン列車 参加者数 35人

2 水産物ブランド化の推進

- ・備後フィッシュ料理教室
開催回数 7回、延べ参加者数 93人
- ・備後フィッシュフェス
来場者数 約5,000人（備後ワインフェスと共催）
- ・「備後フィッシュの食べられる店」認定店舗数 48店舗



【販路開拓支援によるマッチング件数の推移】



【備後ワインクラブ】



【備後フィッシュフェス】



【備後フィッシュ料理教室】

防災対策の推進 (決算額：2,328,881千円)

平成30年7月豪雨による甚大な被害を受け、自治会や自主防災組織、国、県などとの連携を強化することで、抜本的な浸水対策を中心としたソフト・ハード両面の防災力を高めています。

【2018年度の主な取組と成果】

1 地域防災力の強化 (ソフト)

- 避難情報の伝達などソフト面の対策の強化
自治会や自主防災組織などと災害対応を検証
今後の改善策について全学区に共有
- 国、県、事業者などと連携した総合防災訓練の実施
- 地域防災を牽引するリーダーの育成
防災士資格取得者数 (備後圏域)
80人 (累計 337人)
防災リーダー登録者数
42人 (累計 275人)
- 民間企業などとの災害時応援協定の締結
16件 (累計 87件)

2 災害に強いまちづくり (ハード)

- 国や県などと連携した抜本的な浸水対策の取りまとめ
概ね5年間で集中実施
- 継続的な浸水対策の実施
排水機・水路・土砂撤去など 28か所
雨水幹線築造工事 1路線
浸水対策検討業務委託 1か所
- 学校施設の耐震化
耐震化率 87.9% → 91.7%
(2017年度) (2018年度)
小学校 4校, 中学校 1校
(国の補正予算に伴う前倒し分)
小学校 6校, 中学校 3校
- ため池の耐震化 2か所



【総合防災訓練の実施】



【半田池の掘浚 (浸水対策)】

未来を創造する教育（決算額：2,009,157千円）

「子ども主体の学び」の全教室展開を通じて、学ぶことが面白いと感じ、行動化できる確かな学びが育まれています。また、地元企業と連携した海外留学の支援などによって、グローバル人材が育成されています。

【2018年度の主な取組と成果】

1 福山100NEN教育の推進

- ・「学力の伸びを把握する調査」事業
同一児童生徒の学力や学習に関する意識などの経年変化を調査
- ・小学校「学びづくりフロンティア校」事業
主体的に学ぶことを促す活動や指導法の研究・発信
- ・10歳の君へ ようこそ美術館プロジェクト
全ての市立小学校4年生がふくやま美術館を見学

2 学校教育環境の整備

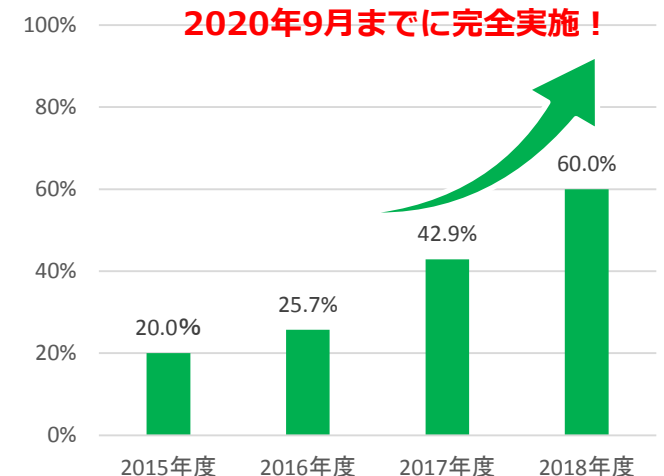
- ・ICT教育機器整備（小学校5・6年生教室ほか）整備率 14.5%
- ・中学校給食 6校で開始 実施率 60.0%
- ・学校再編対象校について事前交流事業の実施
- ・義務教育学校「鞆の浦学園」の校舎改築、学校再編後の校舎の改修など

3 市内大学の人材育成力の充実・強化

- ・官民協働による福山版“海外留学制度” 10名を派遣
- ・市内大学生と市外大学の留学生によるフィールドワーク
研究・提案内容の商品化 2件



【学芸員と対話をしながら絵画を鑑賞する児童】
（10歳の君へ ようこそ美術館プロジェクト）



【学校再編に向けた事前交流事業（授業交流）】 【市外大学生とのフィールドワーク】

【中学校給食の実施率】

未来づくりへのチャレンジ（決算額：9,023千円）

若者のまちづくりや夢へのチャレンジを応援するとともに、未来図を実現する活動の支援や地域コミュニティの再構築に向けた議論などを通じて、世代を越えた未来づくりの輪が広がっています。

【2018年度の主な取組と成果】

1 若者のチャレンジの応援

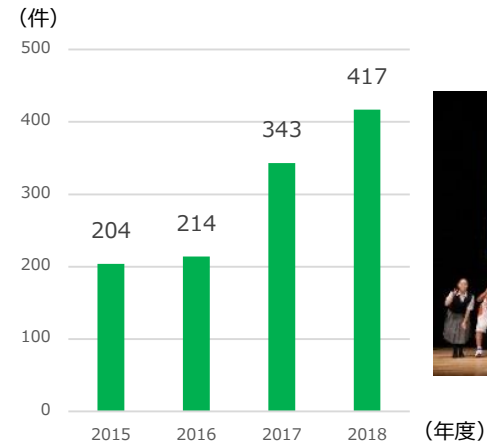
- ・子ども議会・高校生議会
市政に関心を持った児童・生徒の割合 80%
- ・中学生の夢へのチャレンジを応援する「夢・未来プロジェクト」
夢の実現に向けた支援 7件

2 未来をつくる協働

- ・未来づくりミーティング「福山未来共創塾」 開催5回（発表会含む）
福山の未来図の実現に向けたプロジェクト創出 6件
- ・車座トーク 19学区（町）
市内全ての学区（町）での開催が終了 全79学区（町）
- ・持続可能な地域コミュニティのあり方に関する有識者会議
今後の取組の方向性を示す提案書を市へ提出
- ・地域の未来づくりフォーラム 開催2回 510人参加
- ・まちづくり人財バンク
人財と地域・市民活動団体による協働活動件数 7件



【未来づくりミーティング「福山未来共創塾」】



【夢・未来プロジェクト 応募件数と最終審査の様子】



【持続可能な地域コミュニティのあり方に関する有識者会議】

【子ども議会・高校生議会】

歴史・文化・芸術の薫る都市づくり（決算額：206,966千円）

福山城公園の樹木整備やプレ事業に取り組むことで、2019年（令和元年）の入封400年や2022年（令和4年）の福山城築城400年に向けた市民の機運が高まっています。また、音楽祭の開催などにより、芸術文化活動の拠点性向上につながっています。

【2018年度の主な取組と成果】

1 入封400年・福山城築城400年に向けた取組

- ・福山城公園の樹木整備
公園内東側樹木の剪定・伐採
- ・伏見櫓・筋鉄御門の国宝化に向けた調査の開始
調査施設内の公開 2回，参加者 1,551人
- ・福山城博物館などでの特別展・企画展
開催数 4回，来場者 21,779人
- ・入封前の福山の様子を伝える講演会の開催
城のあるまち講演会 開催数 5回，参加者 550人
- ・福山駅北口広場整備基本方針の策定
市とJR西日本が所有する土地の交換を決定



【福山城公園の樹木整備（左：実施前，右：実施後）】

2 歴史文化資源の価値向上と芸術・文化活動の充実

- ・ばらのまち福山国際音楽祭2018（5/2～4）
入場者数 約12,000人
- ・島田荘司選 ばらのまち福山ミステリー文学新人賞
第11回の選定 応募数 77点
第10回，11回受賞作「出版記念パーティー」などの開催
- ・ユネスコ「世界の記憶」関連の巡回パネル展（再掲）
- ・鞆地区町並み保存推進（再掲）



【ばらのまち福山国際音楽祭2018】

鞆のまちづくり（決算額：119,947千円）

鞆まちづくりビジョンの実現に向け、地域住民が主体となった鞆学区地域まちづくり計画の作成を支援しました。日本遺産の認定を受けたストーリーやその構成文化財の活用などにも取り組むことで、鞆地区の再生・活性化が進んでいます。

【2018年度の主な取組と成果】

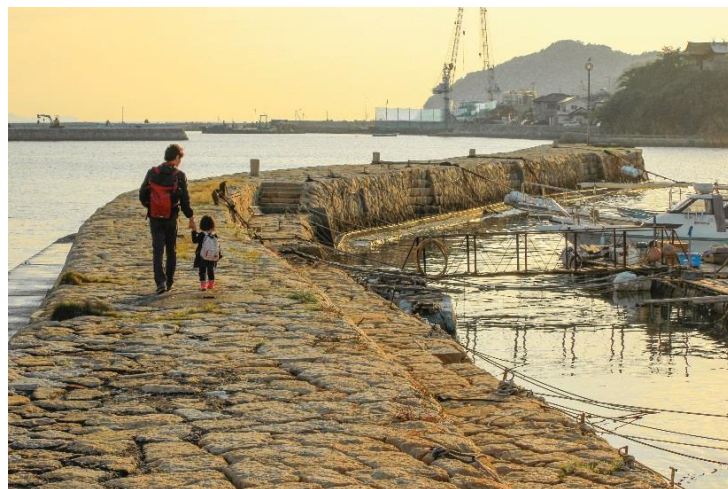


1 鞆地区の再生・活性化

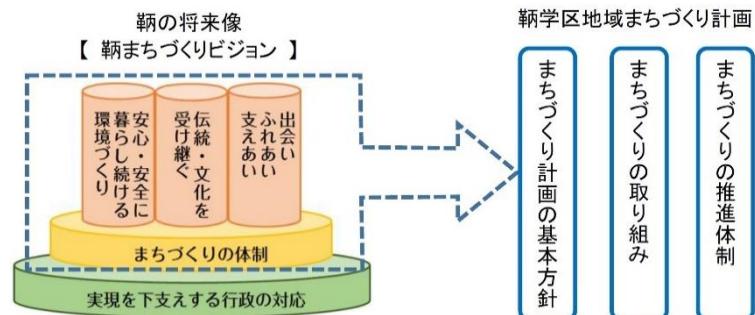
- 安心・安全
 - ・グリーンスローモビリティ実証調査 参加者 1,071人
利用者アンケート結果 乗り心地良い：60%
- にぎわい
 - ・日本遺産の認定及び魅力発信の取組
日本遺産鞆の浦のPR動画の制作 再生数 10,439回
地元有志とデザイナーによるロゴマーク作成 など
 - ・ユネスコ「世界の記憶」関連の巡回パネル展 7回
 - ・（仮称）鞆町町並み保存拠点施設の基本設計の完了
- 歴史・文化の継承
 - ・伝統的建造物群保存地区内の修理・修景に対する補助
修理件数 8件、修景件数 1件

2 地域取組支援

- ・鞆学区地域まちづくり計画の作成支援



【日本遺産の認定】
瀬戸の夕凧が包む国内随一の近世港町
～セピア色の港町に日常が溶け込む鞆の浦～



【鞆まちづくりビジョンと鞆学区地域まちづくり計画】



【グリーンスローモビリティ】



【（仮称）鞆町町並み保存拠点施設
整備イメージ】

スポーツを核とした地域活性化（決算額：3,044,313千円）

総合体育館と公園，（仮称）かわまち広場の一体的な整備や，総合体育館への全国大会などの誘致活動を進めるとともに，メキシコオリンピックチームと市民が交流することで，スポーツによるにぎわいの創出やスポーツ機運の醸成につながっています。

【2018年度の主な取組と成果】

1 拠点施設の整備・活用

- ・総合体育館と公園，（仮称）かわまち広場の一体的な整備（2020年3月供用開始予定）
- ・総合体育館への全国大会などの誘致活動
全日本学生体操・新体操選手権大会（2020年8月）などの開催決定

2 オリンピック・ムーブメントの推進

- ・メキシコオリンピックチームの事前合宿受入れ
2競技（バドミントン，スポーツクライミング）の合宿受入れ
小学生との給食交流や地元実業団との交流試合などの実施
述べ交流者数 2,907人
- ・パラグアイオリンピックチームの事前合宿受入れ合意
備後圏域4市町（福山市，尾道市，府中市，神石高原町）が協力して7競技を受入れ予定
- ・JOCパートナー都市協定によるオリンピック教室の開催
実施校数 4校（市立内海中学校など），述べ参加者数 189人
講師
佐伯美香（アトランタ大会女子バレーボール日本代表）など



【総合体育館（メインアリーナ）の工事現場】



【メキシコオリンピックチームとの給食交流】 17

連携中枢都市圏構想（決算額：724,714千円）

デニムやぶどう（ワイン）などの地域資源の磨き上げや、安定した医療提供体制の確保に向けた調査・研究など、備後圏域6市2町が連携して地域共通の課題に取り組むことで、本市のみならず備後圏域全体の発展につながっています。

【2018年度の主な取組と成果】

1 圏域全体の経済成長のけん引

- ・ 備中備後ジャパンデニムプロジェクト
地場企業とデザイナーのマッチングによる商品開発
首都圏でのPRイベントの開催
- ・ 備後圏域ワインプロジェクト
備後ワインクラブの実施
参加者数 20人
備後ワインフェスの開催
来場者数 約5,000人（備後フィッシュフェスと共催）

2 高次の都市機能の集積・強化

- ・ 安定した医療提供体制の確保
医師偏在や医療政策などの調査・研究
- ・ 地域公共交通の利用促進
笠岡・福山買物ライナーの実証運行

3 圏域全体の生活関連機能サービスの向上

- ・ 福山市民病院から圏域内病院への医師派遣
派遣先 4病院（三原市・神石高原町・井原市）
- ・ 「癒し」をテーマにしたモニターツアー
F1層に人気のモデルがツアーに参加
モデルによるSNS発信 いいね！数 28,822件
- ・ パラグアイオリンピックチームの事前合宿受入れ
福山市・尾道市・府中市・神石高原町が協力して
7競技を受入れ予定
- ・ 再生可能エネルギーの地産地消
地域新電力会社「福山未来エナジー株式会社」の設立



【首都圏でのデニムPRイベント】



【パラグアイオリンピックチームとの覚書署名式】

2018年度 5つの挑戦の軌跡



4月
↓
6月

- 不育症治療費の助成開始
- 高齢者徘徊SOSネットワークの備後圏域への拡大
- 女性のUIターン就職応援事業の強化
- 市外大学への通学費支援制度の創設
- ばらのまち福山国際音楽祭2018の開催
- シャープ(株)、ソフトバンク(株)と先端技術を活用したまちづくりに係る連携協定の締結
- 先端技術によるまちづくり官民協議会の設立
- 福山東警察署と福山駅前のまちづくりに関する協定の締結
- 福山駅前デザイン会議の運営(～3月)
 - ・(仮称)デザイン計画の検討など
- 鞆町の近世港町文化をテーマとしたストーリーが日本遺産に認定



重伝建・ユネスコ「世界の記憶」・日本遺産
国内唯一の3冠達成！

- メキシコオリンピックチームの事前合宿
- 世界バラ会議福山大会(2024年)の開催決定
 - ・デンマークのコペンハーゲンで開催された世界バラ会連合世界大会におけるばらのまち福山のプレゼンテーションによって決定
- 7月の豪雨災害を受け、
国・県などと共に「福山市域における浸水対策協議会」を設立
- 持続可能な地域コミュニティのあり方に関する有識者会議の開催(～3月)
- 伏見櫓・筋鉄御門での国宝化調査開始
- 官民協働による海外留学支援制度を活用した留学生を初派遣
- 新たな人口減少対策～強化策～の取りまとめ
 - ・注力すべき課題から9つのペルソナ(政策ターゲット)を設定
- 福山未来共創塾の開催(～12月)



7月
↓
9月

- 福山版図柄入りナンバープレートの交付開始
 - ・広島東洋カープとコラボレーションして図柄をデザイン
- 広報ふくやまリニューアル
 - ・全ページカラー化や電子版広報、広報アプリの導入
- 新生児聴覚検査費の助成開始
- グリーンスローモビリティ実証調査
 - ・鞆の浦，走島で実施
- （仮称）かわまち広場の整備開始
- 全市一斉総合防災訓練の実施
- リノベーションスクール事業化第1号が伏見町に開店
- パラグアイオリンピックチーム事前合宿受入れに関する覚書の締結
 - ・備後圏域の4市町で7競技を受入れ予定
- 地域新電力会社「福山未来エナジー(株)」の設立

瀬戸内地方初の官民連携による
地域新電力会社
- 市内全ての学区（町）で車座トークの開催が終了 **全79学区（町）**
- 備中備後ジャパニデニムプロジェクト
 - ・世界最高峰の素材展示会「ミラノ ウニカ」に初出展
 - ・GINZA SIX（東京）でのPRイベントの開催

備後圏域のデニムを
世界にPR
- MONET Technologies(株)と先端技術を活用したまちづくりに係る
連携協定の締結
 - ・自動運転社会を見据えた次世代運行サービスに関する連携協定
 - ・服部学区で予約型乗り合いタクシーの実証実験を実施
- 世界バラ会議福山大会基本方針策定
 - ・開催に向けたロードマップの作成
 - ・大会テーマ：Roses for the Future～福山からはじまる，新しい未来～
- （仮称）デザイン計画の中間取りまとめ
 - ・福山駅周辺の4つのエリアの将来ビジョンを提示
- 福山駅北口広場整備基本方針の策定
 - ・JR西日本との土地交換を行い，連携して北口広場整備を進める方針を決定

